

2015年8月29日

国際ロータリー 第2660地区 財団セミナー

ポリオ・プラス

ポリオのない世界という遺産を残そう！

RID2660 ポリオ・プラス小委員会

委員長 松下 和彦(八尾RC)

NHK名作選みのがしなつかし



ポリオとロータリーブランド

“ロータリーブランド” について

2015年 国際協議会@サンディエゴ

『ロータリーは世界中で好ましい変化を生み出す信頼できる団体と評価されています。

ロータリアンは、人びとからの認知を求めることなく黙々と活動を続けてきました。その姿は立派です。しかし、それではロータリアンの活動とその重要性は理解してもらえません。私たちの活動を伝えてゆけば、同じような意欲のある人たちが仲間に加わってくれるはずです』

ポリオ・プラス

Global Polio Eradication Initiative(GPEI)

世界ポリオ撲滅推進計画⇒推進活動

Polio Eradication and Endgame Strategic Plan

ポリオ撲滅・エンドゲーム戦略計画⇒最終戦略計画

ロータリーの歴史上最大の世界ポリオ撲滅推進活動は
ロータリーが果たし得る公民両部門への働きかけ、協調する
モデルとして世界中で認められてます。

ロータリーの役割

1985年

ロータリーが率先して始めた大規模な予防接種活動が契機

1988年

世界保健総会がポリオ撲滅の決議を採択、世界ポリオ撲滅推進計画を開始

- ロータリアンがワクチン投与にボランティアとして活動
- 行政面と財政面の援助を、ドナー政府やポリオ発生国政府に働きかけ
- 撲滅活動の運営資金の調達を支援

(ワクチンの輸送、保管、動員、保健の研修、監視活動など)

WHOのポリオ根絶計画

1960年～

OPVが広範に使用されるようになり、温帯地域の先進国では患者数は激減したが、熱帯・亜熱帯地域では十分な効果がなかった

1988年 WHO総会

2000年を目途に地球上からポリオを根絶する決議が採択

現在

ポリオ患者の発生の続く国に対してNIDs（National Immunization Days：決められた日に国民全員にワクチンを投与する）を実施、OPVを供給し非常な成果を上げている。野生株がなくなればIPV不活化ポリオワクチンに切り替え

（※ブランケット・オペレーション）

ロータリー財団と主なパートナー



ポリオを撲滅させる理由

命を救う IT SAVES LIVES

ポリオを「撲滅」ではなく「抑制」という方策に切り替えたなら、今後40年間で5歳未満の子供1,000万人がポリオによって身体麻痺となる可能性があります。

達成可能な目標 IT'S ACHIEVABLE

ポリオを撲滅し、すべての子供にワクチンを投与する手段は揃っています。新しい2価ワクチンを投与すれば、1回の投与で残存する2種類のポリオウイルスの感染を予防することができます。

ポリオを撲滅させる理由

価値ある投資 IT'S GOOD INVESTMENT

世界的に90億ドルを投じてポリオのない世界が実現すれば、今後20年間で400億ドル～500億ドルの経済効果があると推測されています。

活動基盤の強化 IT STRENGTHENS THE SYSTEM

ポリオ撲滅活動は世界各地で疾病サーベイランス（監視）ネットワークを生かし、はしかの予防接種、虫下し薬や蚊帳の配布といった保健活動を行うことができます。

成功事例をつくる IT SETS THE STAGE

すべての子供にポリオ予防接種を行うことができれば、世界のほかの保健問題も解決が可能であるという証明になります。

Be a gift to the world



世界へのプレゼントになろう

ラビンドランRI会長

『 私たちは、ポリオのない未来をプレゼントすると
世界の子供たちに約束しました 』

“ 第2660地区財団目標 ”

ポリオへ年間 **50ドル以上**の寄付（会員一人当たり）

ご協力をお願いします！

END POLIO NOW



Make History Today 歴史に1ページを刻もう

BILL & MELINDA
GATES foundation

ポリオ撲滅活動が最終局面を迎えた今、ロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団がパートナーシップを拡大しました。

2013～18年、ロータリーがポリオ撲滅活動に寄せる寄付に追加するかたちで、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せします。

ポリオ撲滅の最後の課題

アドボカシー：ロータリアン個人やクラブでも
政治的な取り組みを持続させること

SNSなどの利用：私達の活動を広報する

紛争状態への的確な対応 宗教家への対応

政府をその気にさせる資金提供

…新しい借款（日本国とゲイツ財団による

パキスタン支援）

撲滅支援アドボカシー

人的、金銭的資源確保のためGPEI（世界ポリオ撲滅推進計画）におけるロータリーの大切な役割としてアドボカシー活動（政府・自治体や企業に対する撲滅運動の働きかけ）です。

1988年開始以来、13億米ドルを寄付したことに加え、各国政府から100億米ドルの寄付を確保しています。

ポリオ・プラス・パートナー

- ① 全国予防接種日のための地域社会動員
- ② ポリオ・ウイルス免疫所への援助
- ③ ポリオ担当役員・疫病専門家への援助活動

ポリオの撲滅に必要な用具や補助品の費用やその他活動費用等を支援

アフリカ

ナイジェリア

7月、野生型ポリオの発症がないまま丸一年が経過しました。

ソマリア

8月11日、ソマリアで最近の野生株ポリオの発症が報告されたのは昨年の8月11日。アフリカ全体で野生型ポリオの無発生期間が1年を迎えました。



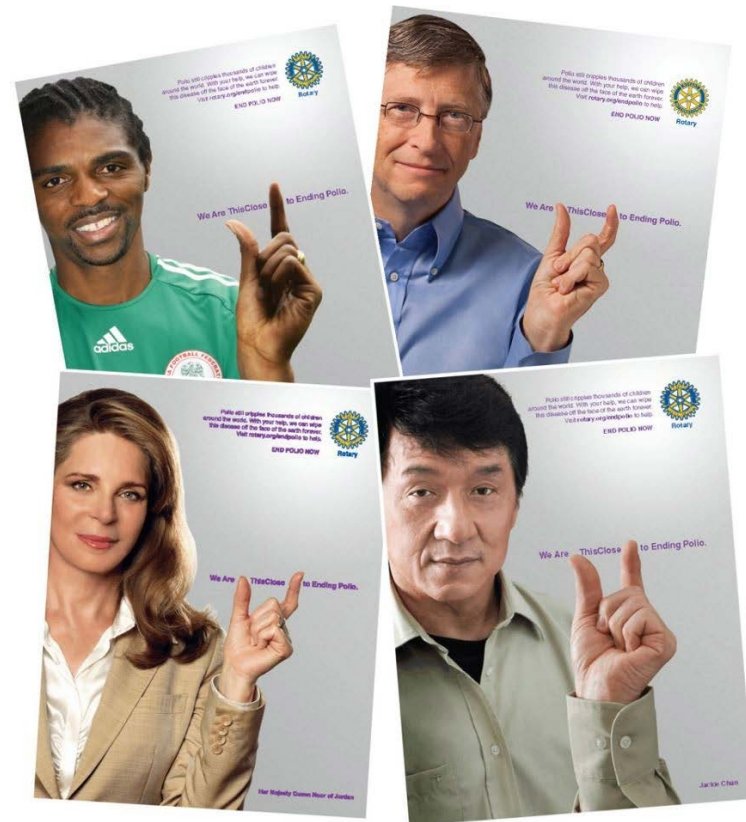
アフリカ全体で野生型ポリオの無発生期間が1年を迎えました
このまま無発症が継続すれば、アフリカ全体でのポリオフリーを達成できます。

ポリオ症例数

	国	2015年(1~7月)	2014年(通年)
常在国	パキスタン	28	306
	アフガニスタン	5	28
	ナイジェリア	0	6
常在国以外	赤道ギニア	0	5
	イラク	0	2
	カメルーン	0	5
	シリア	0	1
	エチオピア	0	1
	ソマリア	0	5
	世界合計	33	359

あと少し

Good Bye Polio !



A photograph of a busy street in Pakistan, likely Karachi, showing a mix of modern and older buildings, traffic including buses, cars, and rickshaws, and a large white text overlay in the center. The text reads 'ポリオ撲滅活動' (Polio Eradication Campaign) on the top line and 'パキスタン' (Pakistan) on the bottom line, separated by a horizontal line.

ポリオ撲滅活動 パキスタン



歴史に1ページを刻もう

ポリオへ一人当たり50ドル以上の寄付を御願いたします！